

平成 24 年 1 月 6 日

劇場のホワイエで、山内ジョージ「絵文字の世界展」開催中 ～トキワ荘ゆかりの漫画家の作品展～

本日 6 日から、あうるすぽっと（豊島区立舞台芸術交流センター）のホワイエにおいて、山内ジョージ「絵文字の世界展」が始まった。

山内氏は手塚治虫と出会い、トキワ荘で石ノ森章太郎、赤塚不二夫のアシスタントを経て独立した。動物の姿に見立てた“動物文字絵”を創り上げ、テレビや新聞などに取り上げられてきた豊島区にゆかりのある漫画家である。

山内氏は、「今回は子どもたちにみてほしい作品を厳選して展示しています。心温まるユニークな動物たちに会いにきてほしい」と作品について語っていた。

「トキワ荘といえば先に挙げた手塚氏や石ノ森氏、赤塚氏などが有名だが、山内氏は諸先輩を見送り最後までトキワ荘に残った漫画家であり、『動物文字絵』という新たなジャンルを築いた彼の様な漫画家もいるということをも多くの区民のみなさんに知ってもらいたい」と今回の企画展の開催につながった経緯を担当者は語った。

動物を利用した作風は優しく、今回の展示では、「夢」や「愛」、「寿」といった希望につながる作品のほか、干支の辰や「としまく」を描いた絵文字約 250 点が展示され、新年の最初に小さなお子様も一緒に楽しめる展示になっている。

「絵文字の世界展」は、今月 15 日まで開催される。

（注・手塚治虫氏の「塚」は旧字体で表記します）



「子どもたちに見てほしい」と山内氏



展示風景

開催概要

日時 平成 24 年 1 月 6 日（金曜日）～15 日（日曜日）正午～午後 6 時

場所 あうるすぽっと ホワイエ（東池袋 4-5-2 ライズアリーナビル 2 階）

主催 あうるすぽっと（公益財団法人としま未来文化財団）、豊島区

問い合わせ：あうるすぽっと（豊島区立舞台芸術交流センター）